

- 富山県入善町にある蒼ファーム(株)は水稻及び大豆を中心に営農を展開。経営の複合化・多角化を図るため平成26年からにんにく栽培を開始し、平成30年からにんにくの加工に取り組んでいるが、人手不足の課題に直面。
- かねてから付き合いのある福祉事業所NPO法人「工房あおの丘」に、にんにくの出荷調製作業や収穫作業を依頼。さらに、にんにく加工品の製造に向け県の補助事業も活用し、継続的に障害者と連携する取組を計画。
- 取組2年目となる令和2年は試行錯誤しながら、にんにくの他に大豆の選別等、農福双方にメリットがある作業を創出。

取組の内容

- ◆ 1年目（令和元年）は、蒼ファーム(株)の作業所で根切り・皮むき等の調製作業。（6～7月・週4日・1日当たり2時間・3～6人）2年目（令和2年）は、にんにくの収穫作業に2日×8名を追加。
- ◆ 平成30年に、にんにく加工品（黒にんにく・ガーリックオイル・ガーリック味噌）の試作品を開発し、令和元年以降、県内の飲食店や加工業者との取引を進めた。令和3年からは、この加工品の製造の一部を工房あおの丘内の加工施設に委託する予定。
- ◆ 工房あおの丘での施設内就労として、味噌原材料用大豆を持ち込み、選別作業を依頼。令和2年の試行0.5tから令和3年は2tへ大幅に委託量を増加する予定。

取組の効果

- ◆ にんにくの出荷作業を委託したことで、作業時期が重なる水稻の管理作業や大豆の培土管理に専念でき、作業効率が向上。
- ◆ 取組2年目は、収穫作業に2日×8名の障害者が携わることにより短期での適期収穫を実現。
- ◆ 福祉事業所ににんにく加工品の製造を委託する計画により、令和3年作付分からにんにく作付面積を30aから60aに倍増予定。
- ◆ 仕上がり見た目や納期に融通が利く味噌の原材料用大豆2tの選別を委託することで年間を通じた雇用を創出。
- ◆ 工房あおの丘では障害者の就労の場の確保と工賃の向上とともに、障害者の生きがいづくりにも役立っている。

事前打合せ



にんにくの調整作業



製造委託予定のにんにく加工品

